事業箇所総合評価シート

【担当課：道路建設課】

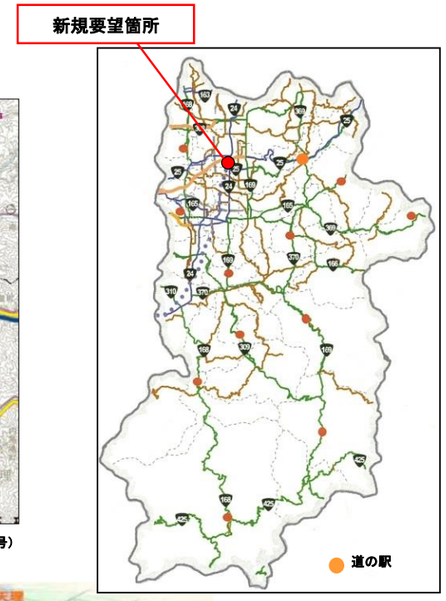
事業名	補助道路整備事業	路線名等	一般県道　筒井二階堂線
箇所名	大和郡山市八条町～天理市南六条町		

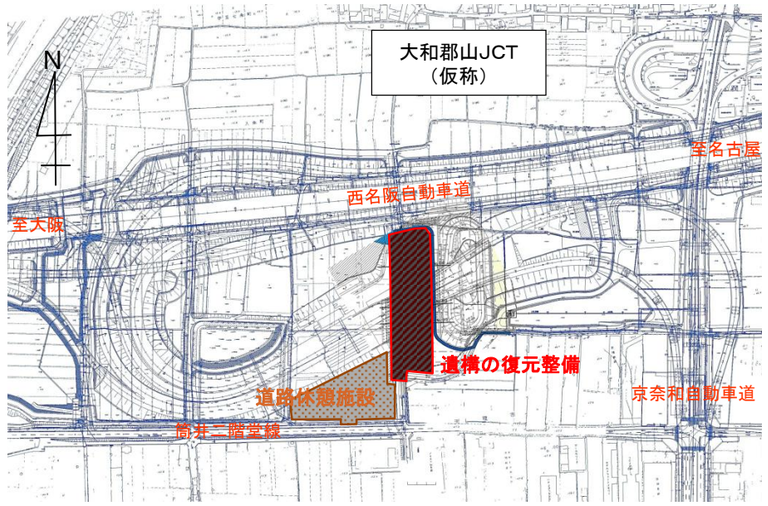
事業の概要	目　的	・奈良県初のジャンクション（JCT）が立地し、東西、南北の幹線道路が集中する当該箇所に、駐車場、駐輪場、休憩施設を整備し、ドライバーに提供することにより、安全で円滑な交通環境を確保する。【基幹】 ・大和郡山ジャンクション（仮称）の整備に伴い出土した、古代の官道である下ツ道遺構を復元整備し、歴史的価値を広く発信する。【効果促進】				
	事業内容	【基幹】 約4,700㎡ 道路休憩施設　　【効果促進】 約5,300㎡ 遺構の復元整備				
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成26年度	全体事業費	【基幹】約90百万円 【効果促進】約65百万円
定性的評価	事業の必要性	【必要性】 ①西名阪自動車道と京奈和自動車道との結節点となる（仮称）大和郡山JCTは、一般道についても南北、東西幹線である国道24号や国道25号が交わる交通の要衝である。郡山ICへのアクセスが便利なこの地域に道路休憩施設をドライバーに提供することにより、安全で円滑な交通環境を確保することが必要。 ②発掘調査により出土した下ツ道遺跡の歴史的価値を後世に伝えるとともに、復元施設の史跡としての有効活用、観光客のための休憩施設として整備が必要。 【緊急性】 ①大和郡山JCT（仮称）は平成25年度末の供用を予定しており、JCT整備の進捗に合わせた整備が必要。				
	上位計画等	・「奈良の今後の5カ年（平成21年度～平成25年度）の道づくり重点戦略」（H20.12） ・奈良県自転車利用促進計画（H22.12）				
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	①下ツ道復元施設と道路休憩施設（駐車場、駐輪場、休憩施設）を隣接して整備することによる相乗効果。 ②奈良県自転車利用促進計画における「ならクル」の北下ツ道ルート上に整備することによる自転車利用の促進。 ③「歩く・なら」のルート上に整備することによる観光客の周遊観光の促進及び地域振興。				
	コスト縮減への取組み	カラー舗装　⇒　As舗装をサンドブラストし、模様を描く　　▲23百万円				
	地元情勢等	①下ツ道の保存に取り組むNPO法人よる下ツ道の復元整備及び公園施設設置についての要望書の提出（H22.12） ②地元自治会よる地域の交流の場となる施設整備及び下ツ道の保存・復元についての要望書の提出（H23.6）				
	他計画他事業との関連	・大和郡山JCT（仮称）は平成25年度末の供用を予定				

評価結果	左　の　理　由
採択	大和郡山JCT整備に関連した重要な事業であることから、採択とする。

【位置図】

この地図は国土地理院の5万分の1を転載（奈良県道路網図平成23近複第71号）



【大和郡山JCT（仮称）完成予想図】

【 計画平面図】